

「 進化する 塗料・塗装技術 」

主催 日本塗装技術協会

協賛 日本化学会、色材協会、日本塗装工業会、日本防錆技術協会、表面技術協会、日本自動車車体工業会、
日本塗装機械工業会、日本工業塗装協同組合連合会、日本塗料工業会、日本塗料検査協会、
高分子学会、自動車技術会、材料技術研究協会、静電気学会、土木学会、日本印刷学会、粉体工業会、
日本金属学会、日本建築学会、日本建築仕上学会、日本鉄鋼協会、日本粉体工業技術協会、
日本レオロジー学会、腐食防食学会、日本油化学会、国際工業塗装高度化推進会議 (予定)

要旨

日本塗装技術協会は、創立 53 年目を迎え、あらゆる分野の塗料・塗装に携わる技術者、研究者を対象に情報交換の場を設けております。当セミナーも「技術の交流、伝承および発展へ貢献する」ことを目標に活動を続けています。より多くの方々に聴講して頂く為に、昨年の福岡講演会につづけて、今年度は大阪講演会を開催致します。

今回は、平成 27 年度 3 回行われた講演会の中から選りすぐりの 5 テーマにてアンコール講演を開催することにいたしました。塗料・塗装現場において頭を悩ませ続けるゴミブツへの新たな切り口について、新しい発想で設計された環境対応した船底用塗料、塗装技術動向からみる自動車加飾トレンド、そして Dress-Formation (新型コペン塗装について)、幅広く業界の技術をご講演いただきます。ぜひ講演に参加して最新の情報に直接肌で感じていただき、今後の活動の一助になればと思います。

アンコール大阪講演会 実行委員長 中岡 豊人 (関西ペイント株式会社)

期日： 平成 28 年 8 月 26 日 (金) 10:20 ~ 16:40

会場： エル・おおさか (大阪府立労働センター) 南館 1023 室

〒540-0031 大阪府中央区北浜東 3-14 京阪、地下鉄谷町線 「天満駅」より西へ 300m

No.	時間	演題及び講師	アウトライン
10:20~10:30 開会の挨拶とガイダンス 日本塗装技術協会 セミナー委員会			
1	10:30 ~ 11:25	「静電気対策による異物低減」 原田産業株式会社 アドバンスツールチーム 豊田 博	塗装工程における塗膜欠陥やゴミ欠陥の原因となる異物対策の基本原則は、以下の4点です。①異物を持ち込まない。②発生させない。③蓄積させない。④排除する。方策に関して、静電気対策の観点からご提案させていただきます。
2	11:30 ~ 12:25	「お金をかけずに現場改善！ 知恵と工夫のゴミブツ対策」 平田技術士事務所 平田 政司	改善に携われる人や予算が限られている塗装現場で、低予算で実施できるゴミブツ対策について紹介する。安価で簡単なツールを用いた不良発生メカニズムの見える化の方法と、具体的な泥臭い対策事例について解説する。
昼食休憩 (75 分間)			
3	13:40 ~ 14:35	「船底防汚塗料における環境対応への取り組み」 中国塗料株式会社 技術生産本部 防汚技術部 主務 横田 浩二	近年、船底防汚塗料には本来の海中生物付着抑制機能に加えて環境規制や燃費性能の向上による GHG 削減など、環境問題に対応するための技術が導入されている。船底防汚塗料による環境対応や開発動向を紹介する。
4	14:40 ~ 15:35	「モーターショー調査及び 塗装技術動向からみる自動車加飾トレンド」 関西ペイント 株式会社 R & D 本部 CD 研究所第 2 部 部長 吉田 耕	各国のモーターショーにおける独自の意匠表現は自動車における塗色開発のトレンドを先取りしたものが多く見受けられる。今回その経年動向から新規意匠の方向性を調査した結果および昨今の塗装技術における意匠開発について報告する。
休憩 (10 分間)			
5	15:45 ~ 16:40	「Dress-Formation (新型コペン塗装について)」 ダイハツ工業 株式会社 生産技術部 車両生技室 副主任 長野 真二郎	2014年6月に発売致しました新型「コペン」は骨格に樹脂外板を取り付けるという構造で、意匠に自由度をもつ仕様となっております。これを実現する為の生産工程、設備、品質造り込みについてご紹介いたします。

プログラムはホームページ <http://jcot.gr.jp/> でもご覧いただけます。

講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報は、ホームページでご確認下さい。